

協働パイロット事業 (H 26) 企画提案書

団体名：いきもの企画

1. 事業の名称

「日本平動物園マニアガイド」作成事業

2. 事業方針 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえてください)

古くてボロボロの檻越しに動物をみる時代は終わりつつあります。

現在は、動物園ブームといわれることも多く、都市部や大規模な動物園だけでなく、地方都市でも、小さな動物園でも工夫を凝らした展示で人々を楽しませています。地方動物園の話題を全国ニュースで聞くことも多くなってきました。

日本平動物園もその中のひとつで、2013年春のグランドオープン後は着々と来園者数を増やしています。平日には動物マニアだらけだった園内も、多くの親子連れやカップルが訪れるようになり、雰囲気が大きく変わってきました。

今後は、新たな「日本平動物園マニア」をつくることが重要ではないでしょうか。

いきもの企画は、動物園とはレジャー施設としてだけではなく、学習の場として市民に利用されるべき施設だと考えています。図書館に古い智慧を尋ねに行くように、動物園には同じ地球に生きる生物のことや、生命の進化や歴史について調べに行く場所になって欲しいのです。紙の上の写真やパソコンの画面越しでなく、生のいきものを見ることは、それだけで感じる、学べる事が多くあると考えています。

来園者が多い時には、ガイドツアーで説明を聞いたり、園内に掲示された情報を見たりするのも限界が出てくるのではないのでしょうか。そういった学習での満足度は、ソフトの面でこそ補えると思っています。私たちは、いきものを「かわいい」「かっこいい」と感じる単純な気持ちから、もっと知りたいという興味をふくらませ、より深い理解をされるべきだと考えています。残念なことに、子供より大人の方がそういった見方をしないで、あっさり通り過ぎていくことが多いように見受けられます。

また、興味津々な子供がいきもの事を親に質問しても、的確な答えを言えず、はぐらかしている場面をよく目にします。親にも、もう少し興味があれば一緒に調べたり、動物園職員に質問したりして、いきものへの理解が深くなるのにと、とてももったいないことのように感じます。

せっかく動物園で、本来の生息地とは違う場所で生きているいきものも、そういったことに最大限に活用されるべきではないのでしょうか。

以上の点から、日本平動物園における大人を対象にした、ややマニア向けな楽しみ方を提供できる冊子の作成・配布を提案します。

紙の冊子と同時に、電子書籍版も並行して作成し、より多くの人に様々な方法で手にとってもらえるようにします。

また、ここで言うマニアとは、「動物園から学ぶという楽しみ方を知っている人」とします。

大人を対象とした動物園の楽しみ方を提案するのは、大人が動物園に対し、「ただ動物がたくさんいる場所」というイメージだけでなく、「興味深く、楽しむ方法がたくさんある場所」という認識を持つことによって、子供に質問されたときに「一緒に調べよう」「動物園の人に聞いてみよう」「まずは自分たちで想像してみよう」という発想が生まれるからです。

また、「大人のため」としたのは、我々が、子供は身近な大人（例えば両親やおじいちゃん・おばあちゃん、先生や近所のおじちゃん・おばちゃんなど）から、その人の言葉で教わるのが、一番自然で、知識が身につく、思い出や記憶に残るのではないかと考えているからです。

また、経験上、動物園マニアになる子供は、子供向けの資料よりも、大人向けに書かれたものの方が喜び、楽しめるように思います。

この事業で、来園者に日本平動物園の新たな楽しみ方を知ってもらい、「動物園は何度来ても楽しめる」という大人のリピーターを増やすことを目指します。

また、「動物園から学べることがある」「知ることは楽しいことだ」ということを知ってもらい、「かわいい・かっこいい」の先にある好奇心や学びに目を向けてもらいます。

「動物園は年に数回、ぐるりと園内を見て、お弁当を食べて帰る場所」という楽しみ方は、数多くある動物園の楽しみ方の、ほんの一部です。

動物園は、もっと多くの楽しみ方と学ぶべきものがある、市民にとって大切な場所なのです。

★日本平動物園マニアガイドの特徴

A4サイズ、32ページ程度、カラー

電子書籍版（PDF、ePUB）も並行して作成し、市、動物園、いきもの企画のHPにて配布

団体名：いきもの企画

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと（市の役割）

- ・動物の情報、資料を提供してもらうこと。基本的特徴から、飼育担当者だけが知っている情報など。
- ・動物園の入場口付近で無料配布してもらうこと。また、無くなったら補充してもらうこと。
- ・展示内容が変わった場合は、迅速に更新させてもらうこと。
- ・電子書籍版をウェブサイトで配布してもらうこと。

以上を行政に望みます。わたしたちは冊子の編集・デザインを手がけます。

団体名：いきもの企画

4. 成果目標（できる限り具体的に表現してください）

- ・大人のいきものへの興味・理解を楽しく深める

現状より詳しく、動物図鑑より楽しく、印象深く学んでもらう。

- ・リピーター率の増加

通常よりリピートの頻度も増やしたい。

- ・魅力再発見

すでに何度もきたことがある人でも、真新しい気持ちになり、動物園を見直してもらうきっかけになる。

5. 事業計画

- 1.動物園担当者、飼育担当職員の方々に話を伺う
- 2.現地調査・資料での調査を行う
- 3.テキストを起こし、まとめる
- 4.まとめたものをデザインに落とす
- 5.印刷
- 6.電子書籍作成
- 7.設置する
- 8.HP（静岡市、日本平動物園、いきもの企画）上で公開、配布

6. スケジュール

7～8月 調査

9月～11月 制作

12月 印刷&設置

その後変更があれば、適宜修正を行う

7. 実施体制および主要スタッフの経歴

実施体制 3名

●橋詰茉莉亜

常葉学園大学造形学部インフォメーションデザインコースで4年間デザインを学ぶ

全国各地50ヶ所以上の動物園水族館に訪れている

日本平動物園には幼少期より馴染みがあり年間20回以上訪れ、友人グループのガイドツアーなど行っている

2012年の4月から団体を立ち上げて、いきものの新しい魅力を知ってもらうことをテーマとした冊子、7冊を発行

日本平動物園との共催イベントも行う

●宮原智未

常葉学園大学造形学部インフォメーションデザインコースで4年間デザインを学び、卒業後デザイン事務所に勤務

NPOに興味を持ち、いきもの企画に参加

ウェブデザインをはじめ、いきもの企画の広報物、イベントで使用するシート等のデザインを担当している

●川口瑠衣

事務局長。

2009年より静岡市内の中間支援系NPO法人に勤務

事務局としていきもの企画に参加

団体事務として書類の作成、会計、渉外等を担当している

他、事務局として会員のボランティアが参加予定

8. 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績など）

昨年「もっとメモ」を作成したときの反省を活かし、大判で情報量の多いものをつくりたいと考えました。個々の施設（4施設）に特化した「もっとメモ」との違いは、日本平動物園全体のマニアックな情報と楽しみ方をわかりやすく、面白く提案できる冊子である点です。

「動物園は楽しい!」ということ、多くの市民は知っています。

また「動物園は楽しい!」という主に子供向けの冊子やパンフレットはすでにたくさんあるでしょう。

その「楽しい」が、多々ある動物園の楽しみ方のひとつであることに気付いてもらい、多くの楽しみ方の中から自分らしい楽しみ方を見つけられるような提案を考えています。

また、ただ楽しいだけでなく、学習の場として利用できるのだという提案をしたいと思います。

冊子と同時に電子書籍を作成することによって、タイミング的に動物園で手に取れない人にも読んでもらえるようになります。市の内外を問わず、興味を持った人の手に渡ることが容易になるでしょう。

冊子の配布終了後でも、増刷の必要無く、「読みたい」という要望にこたえることができます。

最近ではスマートやタブレット端末などで写真を撮るケースも多く、使用しているガジェットでそのまま電子書籍を読めることは、とても便利だと考えます。

協働パイロット事業 (H26) 見積書

団体名: いきもの企画

企画のタイトル: 「日本平動物園マニアガイド」作成事業

項目	金額	説明
印刷代	122,000	サイズ: A4 32ページ フルカラー 中綴じ 1000部
デザイン料	50,000	(ラフ制作、レイアウト制作、イラスト、写真素材の作成・加工、デザイン制作、テキスト作成等)
調査費 (素材となる写真、資料)	12,000	@3,000円×2回×2人 (交通費往復 1500円、人件費 750円×2時間)
打合せ費 (外部との打合せ、ヒアリング)	12,000	@3,000円×2回×2人 (交通費往復 1500円、人件費 750円×2時間)
電子書籍作成	30,000	形式 (PDF、EPUB) 2種
小計 A	226,000	
消費税 B = A × 0.08	18,080	
合計 A + B	244,080	

◎実費弁償契約の希望の有無

有

無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途